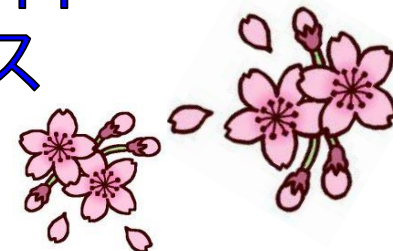
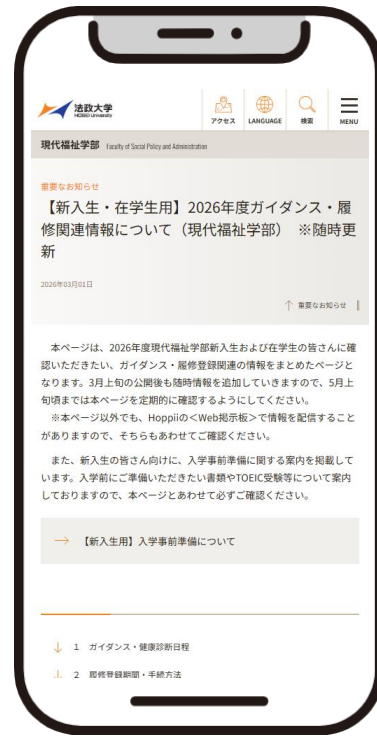


# 法政大学

現代福祉学部福祉コミュニティ学科  
2026年度 新2年生ガイダンス



# <まとめページ>について



まとめページはこちら



2年次終了までに40単位以上を修得すること

- 2年間で40単位のペースでは4年で卒業できないので注意しましょう！
- 3年生から4年生への進級要件は、2年生のうちに満たせます  
→3・4年生になって慌てることのないよう、計画的な履修を！

※注意※

学科ごと・入学年度ごとに細かく規定されているので、よく読んで確認すること



# 福祉コミュニティ学科4年次への進級要件

手引き→福コミP.14

以下の修了要件を満たしたうえで80単位以上修得すること。

※SSI生は要件が異なります。

2021年度以降入学者	科目・科目群	単位規程
	言語コミュニケーション科目(第一言語群) ※第一言語群(=英語)が必修。留学生は英語+日本語が必修	6単位以上
	基礎演習 I・II	4単位以上
	専門演習 I A・I B	4単位以上
	専門基礎科目	6単位以上
	専門基幹科目	8単位以上

# 福祉コミュニティ学科卒業要件 (1~4年生で修得すべき単位)

手引き→福コミP.15

2021年度以降入学者 科目群		単位規定	
総合教育科目	学部共通科目 <b>基礎演習 I・II は必修</b>	4単位以上	30 単位 以上
	視野形成科目		
	情報・調査系科目		
	言語コミュニケーション科目 ※「選択必修科目A」は6単位選択必修、「選択必修科目B」は2単位選択必修 ※留学生は英語+日本語が必修	10単位以上	
専門教育科目	専門基礎科目 <b>6科目中4科目以上修得すること</b>	8単位以上	80 単位 以上
	専門基幹科目 <b>10科目中5科目以上修得すること</b>	10単位以上	
	専門展開科目	規定なし	
	演習・実習科目 <b>専門演習 I A・I B~III A・III B は必修</b>	12単位必修	
	自由科目	20単位以内	
合 計		124単位以上	

## 2年生の履修でおさえるべきポイント(1)

---

- ・English Communication 2A・2B(選択必修A)  
→ <まとめページ>で自身のクラスを確認の上、履修してください
- ・発展、資格、時事英語(選択必修B)  
→ 事前の抽選が必要です。当選したクラスを履修してください

言語コミュニケーション科目は、2年生の内に選択必修Aで6単位、選択必修Bで2単位の修得を目指しましょう！

## 2年生の履修でおさえるべきポイント(2)

---

- ・**専門演習 I A・I B**

→選考で合格したゼミを履修してください

- ・**専門基礎科目**

→卒業要件に備え、2年生の内に4科目(最低3科目)の修得を目指しましょう

- ・**専門基幹科目**

→卒業要件に備え、2年生の内に5科目(最低4科目)の修得を目指しましょう

## 2年生の履修でおさえるべきポイント(3)

---

### ・総合教育科目、専門教育科目

→卒業要件に備え、2年生の内に総合教育科目は30単位以上、  
専門教育科目はなるべく多く修得しましょう

### ・実習先行履修科目、資格関連科目

→実習・資格科目はなるべく2年生の内に修得しましょう

### ・1年次修得推奨科目

→1年次に「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「基礎英語A・B」「English Communication 1A・1B」  
「フィールドスタディ入門」を修得できなかった方は、2年生で再履修して修得しましょう

# 年間履修登録単位上限について(1)

手引き→P.19・20

- 2年次の履修登録単位上限は48単位
- 1年次での再履修・未履修の科目を履修する場合の履修登録単位上限は49単位

福祉コミュニティ学科2年生は、春学期履修登録時点では履修登録単位上限を全員46単位に制限  
秋学期の履修登録修正期間で2 or 3単位分の追加が可能

## 年間履修登録単位上限について(2)

手引き→P.20・21

- ・教職課程履修者は**再履修・未履修分 + 教職科目**で**24単位**まで  
上乘せ可
- ・資格科目を履修する場合は**再履修・未履修分 + 教職科目 +  
資格科目**を含め、**総合計72単位**まで履修可
- ・Intensive English受講者は、**Intensive English分の  
4単位**を更に加算可

## 【申請期間】

春学期: 2026年 4月1日～7日

秋学期: 春学期成績発表日から1週間

※詳細は後日お知らせ予定

## 【申請方法】

<まとめページ>の「9 単位認定制度(認定課外実習・英語検定試験成績)」という項目を確認してください。

# 各種制度・プログラムのご紹介

- ・他学部公開科目
- ・成績優秀者他学部公開科目履修制度
- ・グローバルオープン科目
- ・サティフィケートプログラム
- ・全学共通教育プラットフォーム
- ・大学院科目(人間社会研究科福祉社会専攻)の一部科目の履修制度 ※3・4年生のみ

# 研究活動の不正行為について

手引き→ P.74

法政大学では「研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程」をはじめとする様々な規程やルールを定め、研究活動における不正行為の防止に取り組んでいます。

研究活動における不正行為を認識し、研究倫理教育を学習することで、研究者倫理に関する規範意識を身につけてください。

以下が「研究活動の不正行為」に該当します。

\*\*\*\*\*

## 代表的な不正行為

(文部科学省が定める「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」において、以下が代表的な不正行為とされています。)

### 捏造 (Fabrication)

存在しないデータ、研究結果等を作成すること

### 改ざん (Falsification)

研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること

### 盗用 (Plagiarism)

他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること

\*\*\*\*\*

# 履修登録について

# 履修登録とは…

---

履修登録とは、履修を希望する科目を大学に届け出る作業です。登録した授業科目に対してのみ、成績の評価と単位が認められますので、指定された期間内に必ず「履修登録」を行う必要があります。

授業に毎回出席しても

履修登録を行っていないければ単位は認められません！

# 履修登録の流れ

①時間割表・シバスを見て  
履修希望科目を決める

※抽選科目は履修登録期間  
前のエントリーが必要！

②期間内に情報システムで  
履修登録を行う

※履修登録期間中であれば  
何度でも変更可能！

③登録後「履修科目確認  
通知書」を出力・保管する

# 履修登録のポイント

- ・「情報システム」から履修登録を行う。
- ・約1週間半ある**期間内のみ**登録・変更・削除が可能！
- ・春・秋・通年科目すべての科目を登録しよう！
- ・秋学期科目は9月中旬頃に履修登録変更が可能！  
※一部変更(追加・削除)不可科目あるので注意。
- ・抽選科目は**履修登録期間前**に抽選申請が必要！
- ・履修登録後は「履修科目確認通知書」を出力・チェック・保管しよう！

# 履修登録申請期間

---

(履修登録期間)

4月6日(月)～4月15日(水) 各日10:00～23:59

(履修登録修正期間)

4月20日(月)・4月21日(火) 各日10:00～23:59

※履修登録修正期間は、必要な方のみ修正してください。

※秋学期科目履修登録変更期間は後日Web掲示板等でご案内予定です

# 抽選科目申請期間

(抽選科目申請期間)

**4月2日(木)17:00~4月4日(土)12:00**

※抽選科目の申請は「情報システム」から行ってください。

※抽選科目、申請方法の詳細は<まとめページ>で確認してください。

※抽選結果は4月6日(月)10:00までに、「情報システム」で発表します。

※抽選に当選した科目は**原則取消不可**です。必修・実習・クラス指定科目と被っていないか、事前によく確認した上で申請してください。

※「発展・資格・時事英語」は残席があるクラスのみ再抽選を行います。その他の科目は再抽選は行いません。

抽選科目について



# 情報システムと学習支援システムの違いについて

## 情報システム

- ・履修登録
- ・抽選科目の申請
- ・成績確認
- ・住所・連絡先変更

など

## 学習支援システム

- ・教材の配布
- ・レポートの提出
- ・小テスト実施
- ・授業に関するお知らせ(休講等)

など

「情報システム」と「学習支援システム」は**全く別のシステム**です！

# 情報システムと学習支援システムの連携

情報システムで履修登録を行った科目は、翌日の早朝に学習支援システムに連携されます。

連携をまたず即時で授業情報を得たい場合は、Hoppiiから仮登録をしてください。

→ただし、Hoppiiで仮登録した科目は、**情報システムに連携されない(=履修登録されない)**ので注意！



～実り多い学生生活になりますように～

■情報を活用して行動につなげてみよう！

情報・知識が多いほど、興味・関心につながることも多いでしょう。情報・知識を蓄えていろいろなことに挑戦してみてください。



皆さんの大学生活を教職員一同応援しています！